

# 三島駅再開発で監査請求

4/26 中  
31面

## 住民代表、市長に「2億7300万円損失」

三島市のJR三島駅南口西街区の再開発事業を巡り、東京急行電鉄への土地売却で市に損害を与えたと

して、事業見直しを求める地元住民でつくる「三島駅南口の整備を考える市民の会」代表の渡辺豊博さん(※)が二十五日、豊岡武土市長に二億七千三百万円の損失補填を求める住民監査請求をした。西街区に絡む渡辺さんの請求は一月以来二度目となる。

西街区の事業は、市と市土地開発公社が所有していた同市一番町の土地〇・三四畝を再開発するもので、市の公募で東急が事業者に選ばれた。東急は二〇二〇年六月の開業に向け地上十

四階建て二百室のホテルを建設している。今回の請求書では、〇・三四畝のうち公社が保有していた〇・三一畝について、市は公社から土地を買い取って東急に転売する手続きをせず、公社から東急に直接土地を売却させたため、市が得られたはずの二億七千三百万円を失ったと指摘している。

渡辺さんは市役所を訪れ、市監査事務局の芹沢尚

志事務局長に請求書を提出。市の公社に対する管理責任を問いたいと話した。市管財課は「不正や法規・法令違反は断じてなく、土地売却も適正に処理されている」と文書でコメントを出した。監査委員は六十日以内に請求を監査する。

渡辺さんは前回、同じ土地の売却に絡み、売却額が不当に安かったなどとして豊岡市長に約四億五千万円の損失補填を求める住民監査請求をしたが、棄却された。(佐久間博康)